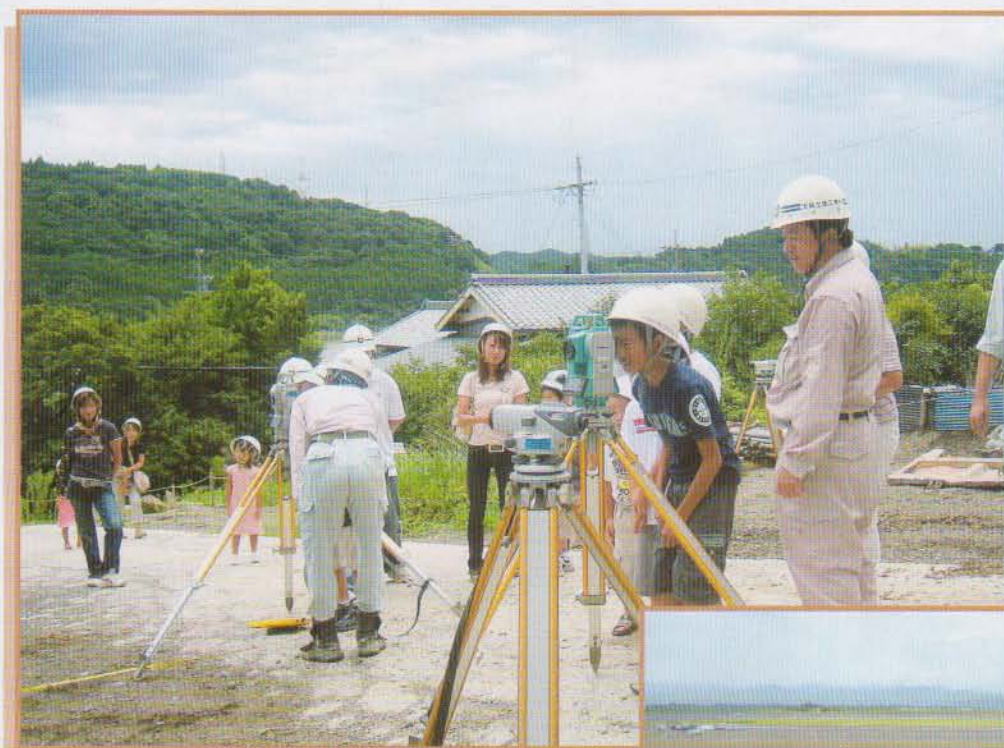


会 報

平成19年10月19日

てんりゅう



夏休み親子現場見学会

平成19年度の現場見学会は、渡ヶ島久保の急傾地崩壊対策事業と
富士山静岡空港建設工事の現場を見学しました。（本文は2～3頁）

会報てんりゅう 第89号

(社)天竜建設業協会 浜松市天竜区二俣町鹿島491-5 ☎(053)926-1562
編集・発行 広報委員会 題字 秋山錠介 FAX (053)925-6468
電子メールアドレス tenryu@aqua.ocn.ne.jp
ホームページ <http://www.tenkenkyo.net/>

今年も8月23日（水）夏休み親子現場見学会を行いました。今回は、急傾斜地の対策工事と静岡県が建設を進めている富士山静岡空港建設工事の現場を見学しました。

参加の皆さんは、身近で行われている急傾斜地崩壊対策事業と大規模な空港建設事業の工事現場を見学し、公共工事にたずさわる建設業への期待を親子で話し合っていました。



富士山静岡空港建設工事 静岡県が将来も豊かであり続けるために

平成21年3月の開港を目指して急ピッチで工事が進められています。ここでは滑走路になる予定地をバスにのり、ぐるっと見学。石雲院から舗装された細い山道を200mほど登ると展望台があり、ターミナルエリア建設地を一望できます。天気がいよい日には、富士山から駿河湾、伊豆半島まで望むことができます。

ビクターセンターでは、空港の概要や工事の状況、空港の完成予想模型があり環境対策への取組を紹介するパネルと、カエルやイモリといった小型の水生物などの展示もしています。

また、工事を始める前に生息状況の調査をして、それぞれの動植物にあった環境を復元したり、赤坂池下、千頭ヶ谷池の谷戸田を利用してビオトープを整備している様子も見学しました。

空港建設地やその周辺で採取した郷土種の種子から育てた苗木（ポット苗）や、工事を始める前に採った幼木や根株を造成の斜面等に植えて、緑の復元をしている説明も伺いました。



「空港の森ルネッサンス作戦」で整備されたビオトープ

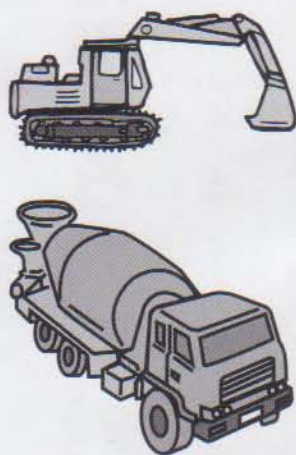


ずらっと並んだトラック。空港の建設現場は190haと大変広いため、豆つぶのように小さいですが、実は90tダンプトラックなんです。私たちが普段、見かける10tダンプでさえ大きいのに、90tダンプなんて想像できますか？」左のタイヤが90tダンプトラックのタイヤなんです。



夏休み親子現場見学会

渡ヶ島久保の急傾斜地崩壊対策事業 事業の目的《がけ崩れから人命を守る》



当地区は30度を越える急斜面に位置しており、台風や集中豪雨により発生するおそれのあるがけ崩れから生命を保護するため擁壁等を施工する必要性を浜松土木事務所天竜支局の監督さんよりお話ししていただきました。

施工を請負っている天龍土建工業(株)さんからコンクリートの壁が出来るまでの工程や、工事で大変なことを説明していただきました。

設計図とおりに正確な位置をだすために光波を使って測量することを教えていただき、子供たちも実際に機械に触り、自分の目で光波を覗き込み、機械を操作させてもらいました。何mm単位で正確な距離がでる機械を興味深く覗いていました。



工事現場はどことも整理整頓され、安全に注意して作業が行われていました。すぐ目の前で動いた重機のエンジン音におどろきました



測量機器を覗いて位置確認を体験



富士山静岡空港、ビジターセンターのヘリコプター展示をバックに記念写真



災害に備えろ

吉川建設(株)静岡営業所

高木 幸裕

東海地震が現実味を帯びてきている今日ですが、地震の怖さを知っておく必要があると思います。

地震は「人間がコントロールできない」当然ですが、地震は自然災害である。

「運を天に任せる」といった側面は否定できません。

これだけ文明が発達し、科学技術が進歩した現在においても、残念ながらこうした事実は不変です。

しかし、来るべき大型地震に対して「備え」をしておく事は誰もが可能です。

「天災は忘れた頃にやってくる」と言いますが、改めて「災害への備え」を再確認しておきましょう。

事前対策こそが最大の危機管理となる。

まずこれだけは最低限やっておきましょう。

- ・住民票がどこにあるか確認しておく
 - ・非常時持ち出し袋の中には必ず、身分証明書や火災保険などの契約書(コピー可)を入れておく
 - ・保有資産の明細表を作成しておく
- その他一般的なことは



- ・転倒や落下に備え、家具を固定しておく、また二段重ねしない
- ・自宅の耐震化の促進
- ・水や食料など、数日間の生活が自力でできるよう日頃から備蓄(用意)しておく

・災害発生時の家族との連絡方法(安否確認)を決めておく

・避難場所及び避難ルートの確認

・自分の住むエリアの地域危険度を知っておく

以上です。
まだ準備が不十分の方は、今すぐ実行に移すことをお勧めします。

かんとくさん



西部農林事務所天竜農林局
林道課

渡邊 直樹

私は県職員になり林道課に配属されて2年目です。去年新社会人になり、あつという間に1年が過ぎていきました。学生生活をのほとんどと過ごしてきた私にとって、社会人になってまず大変だったのが早起きでした。さすがに今は慣

れましたが、肝心の仕事の方はいうと：まだまだ慣れていない1年生気分です。

昨年からの1年半で3件の林道工事を担当させてもらいました。周りの方々の手助けもあってどの工事も無事完成させることができましたが、実際に林道が完成しそれが森林整備に役立っていると思うと、やりがいのある仕事だと感じ、また責任も感じます。

まだまだ1年生気分ですが、初心忘れるべからずの気持ちで、これから日々精進し一日でも早く立派な『かんとくさん』になれるよう頑張ります。よろしく願います。

最近のキーワード

新刊
紹介

GTD

GTDという手法が注目されている。デビッドアレンの著書となる「Getting Things Done」(仕事を成し遂げる技術)の方法論で、1度頭を空っぽにして、アクションリストを作成、効率的に仕事を回転させようと言うもの。ストレスフリーな仕事術は、人生全般に応用できると人気を集めている。

全国建設業協会が発刊した「どうする? 少子高齢化時代の人材確保と育成~ワークシートで考える建設業の生き残り戦略」は、会員企業の実態・課題を調査し、これからの建設業を企業の基盤である人材の視点で整理し、報告書にまとめたもので、ワークシート作成がGTD手法に通じている。同書は、地元企業が抱える課題を整理、将来像を結ぶための『建設版GTDと言える。』



新潟県中越沖地震での商店街の被害



私の安全パトロール日誌

1はじめに

今回の、「私の安全パトロール日誌」は、このほど静岡市で開催された静岡県労働災害防止大会の講演会の内容を参考にまとめた。

講演のテーマは「新潟県中越地震」及び「新潟県中越沖地震」の対応について。講師は、新潟県建設業協会総務部長代理の水野毅志氏は新潟県中越地震への協会の取り組み、特に被害の大きかった小千谷支部の取り組みを中心に述べられました。

講演の内容は、発生が予想される東海地震に備え、建設業協会がいかに対応するか大きなヒントが示されています。

2地震の概要

新潟県の中越地方は平成16年10月23日にM6・8、最大震度7の新潟県中越地震、平成19年7月16日にM6・8、最大震度6強新潟県中越沖地震の強い地震が発生しました。新潟県中越地震では崩壊した道路から転落した車中からレスキュー隊員により救出された皆川祐太ちゃんの記憶が残っていると思いますが、この地震の人的被害は死者48人、傷者4,794人、住宅の被害は全半壊16,816棟でした。

3災害応急に関する協定と初動体制

協会は、新潟県長岡地域振興局小千谷維持管理事務所と災害時における応援業務協定を結んでおり、協定に基づいた発震後の小千谷維持管理事務所と県協会小千谷支

部とのやりとりと対応は次の通り。

10月23日

17時56分 地震発生

22時00分 小千谷維持管理事務所が情報収集、パトロールを開始するが道路寸断や路面状況が悪くパトロールは中止、夜明けを待って再開を決める。併せて県協会小千谷支部と連絡を取る。協会支部も全会員に携帯電話等で連絡を取ったが連絡不能のため翌朝を待つ。

24日

9時00分 維持管理事務所から協会支部に通行不能箇所解消の指示がされる。

協会支部は組織体制確立のため全会員と連絡を試みるが、連絡手段の確保ができず稼動可能な会員で主要幹線の国道177号の確保にあたる。

25日

管理事務所と協会支部との打合せ、連絡体制を構築して主要幹線と平行してその他幹線道路の組織的本格復旧作業に着手。また、両者で毎朝7時からの定時打合せ会の開催を決める。

27日

第1目標の孤立集落の解消を完了、以後2次復旧、3次復旧を完成させる。

12月24日

除雪対応路線の確保を完了する。以上が災害協定に基づく主なやりとりと対応ですが、この間毎朝7時からその日の復旧重点箇所の打合

せを実施すると共に、常時連絡員を配置して作業の連絡調整や近隣支部の受入態勢の調整も行う。

また、日々変化する交通規制図を維持管理事務所から受領して会員へ配布して円滑な移動手段の確保も図った。

4ボランティア活動

県協会小千谷支部では災害応急業務に併せて、県や市町村そして地域への活動も行いました。

主な内容はアントや仮設トイレの運搬改修、救援物資の保管場所の提供と避難場所への運搬、被災家屋の修理相談窓口の設置、危険家屋の取壊し、道路上の危険物排除、地域住民への発電機や排水ポンプの提供等々です。

5今後の課題

県協会小千谷支部の活動を通じて示された、今後の課題は大変参考になる内容です。特に会員のアンケートへの意見は体験者でなければの説得力を感じます。

①事業所、従業員も被災者で、いかに従業員の生活と勤務を確保して事業所の機能を回復させるか。

②ライフラインが被災した場合は従業員の衣食住の確保も必要であること。

③連絡手段の確保については、被災後はしばらく有線電話に加え携帯電話も使えない状況になり、道路も非常に渋滞することです。これらの対策として車載の無線電話が有効であったことと二輪車、バイクが活

躍した。また、従業員のメールアドレスを整理しておく必要がある。

④非常時体制の強化のための日頃の防災訓練、発電機等非常用機材の準備と保管倉庫の耐震性確保。また、停電時におけるパソコンの電源確保も重要で工事用発電機の電圧は変動が激しく使用できないこと。

⑤道路渋滞による資機材運搬は特に重要で、大型車より小回りの聞く小型車が有効であった。また、緊急工事用の資機材運搬であっても警察により阻止されたケースもあった。

⑥廃材のストックヤードの不足。復興過程における資材の不足と値上がり。

⑦被災直後は混乱の中で行政の指示も混乱し、行政の部署間で輻輳するケースもあり連絡調整の必要性を感じた。また、道路復旧等にあたって復旧を優先するあまり地域住民の行動が制限され不満が出たが行政が対応してくれなかった事例もあった。

⑧応急工事の設計書を事後に組む折や検査の際、写真がない。施工計画書がない。など緊急時でありながら行政側に弾力的運用がない。

6まとめ

新潟県建設業協会小千谷支部の応急活動を通じて多くの課題が提案されています。東海地震の切迫性が叫ばれている静岡県で活動する建設業者の一員として、今、新潟県から発信された課題解決に取り組んで東海地震に向かっています。

お宝発見

シリーズ第2回

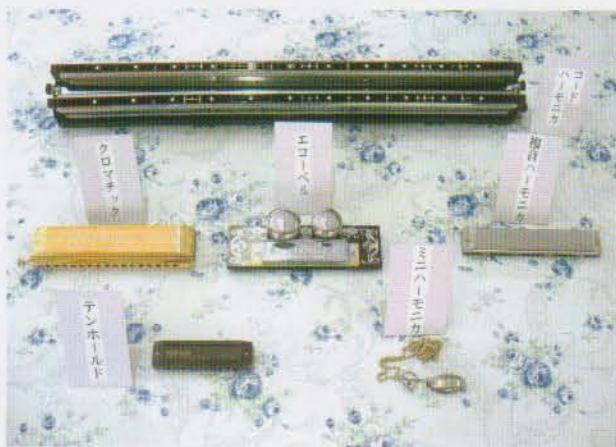
ハーモニカ

（株）神田組 会長 清水禮次

平成9年4月に旧天竜市の公民館活動でハーモニカ教室ができて募集があり参加、ハーモニカを始めて約10年になります。

5年ほど前から、各地の演奏会や施設などの慰安にも出かけ友達も増え、毎日を楽しく過ごしております。

ハーモニカには世界最小のミニハー



モニカ、木製のテンホールド、自分で伴奏ができるエコーハーモニカ、一つの穴で4つの音が出るクロマチックハーモニカ等たくさん種類があります。

ハーモニカという楽器は健康のために一番良い楽器だと思っています。皆さんも一緒に習ってみませんか。



西部農林事務所天竜農林局

越川 志保さん

は学生時代から利用していましたが、まさか自分がつくる側になるとは思いもよらないことでした。

去年は見ることに聞くことすべてが物珍しく、職場の皆様や業者の皆様に多くのご迷惑をおかけしながらも、楽しい毎日過ごすことができました。今年には二年目らしく、先手必勝で仕事に取り組みたいと考えています。よろしく願います。

My Family



家には虫や魚がいっぱい

乗松建設(株)
石川 万祐子

こんにちは、我が家を紹介しますね。うちは父母、私たち夫婦と長男（滝穂、次男（晋山）の6人家族です。やんちゃざかりの彼達は保育園に通う年長さんと年少さん虫や魚、恐竜が大好き。あと海や川も（今年は何



回行ったかな？もちろん庭プールも！阿多古川や一雲齊川で魚やザリガニを捕まえてきたりと家には虫や魚がいっぱい！トカゲやカマキリもいたりしてお母さんとしては、こんな感じなんです。が駄目とは言えず、「そろそろ放してあげたら？こんな狭い所じゃかわいそうだよ！」説得中です。海や川の泳ぐ方では浮き輪を使うんですが何回も行くので慣れたのか、「お父さん足着かない所へ連れて行ってよー！」なんて言う言葉も今年に聞けました。顔も浸けられるようになったしね。でも今は弟の方がお兄ちゃんより長く顔を浸けてくれるし目も開けられます。